



岩手山

1.概要

日本で県名を冠する山は岩手山のみである。それだけ地元の多くの人々に崇められ、その地方のシンボルとして親しまれてきた結果と思われる。この山は鬼ヶ城を南壁、屏風尾根を北壁とする西岩手外輪山の東壁に生じた複式火山である。東側は長い裾野を作り富士山に似るが、西側は尾根状の外輪山として黒倉山、姥倉山と続く非対称の山容の為「南部片富士」とも呼ばれている。黒倉山周辺での火山活動のため、一時期入山禁止の措置も取られたが、今は一部を除き解除されている。

焼走りルートでは、登山道の脇に日本最大と言われるコマクサの大群落が見られる他、登山道脇のシラネアオイ、サンカヨウ、イワカガミ等の高山植物も見事である。また、熔岩流跡も見ることが出来る。

鬼ヶ城の下にはハツ目湿原と呼ばれるお花畑が広がり小さな湖も2つある。

2.登山ルート

大きく分けて東西南北4つの登山ルートがある。最も一般的なのが岩手山の東側からスタートの「馬返」と「焼走」登山口である。両者とも駐車場、トイレも完備しており登山者の便宜を図っている。又西側からは「網張温泉」と「松川温泉」から登山道が延びている。特に「網張温泉」からは夏山シーズン中はスキーリフトが登山者用に開放されており(土、日が主)便利である。尚、黒倉山、及びその山腹を通る「県民の森」への登山道は火山活動が沈静化していない為、通行禁止となっている。又、不動平～御苗代湖～編張温泉の縦走ルートは各種の高山植物が登山者の目を楽しませてくれるが、長いので要注意。

3.本ツアーのコースと所要時間

《この間コマクサ群生》

- ・焼走登山口T <溶岩流横の砂礫の登り=120分> 噴火口跡 <砂礫の横断道=50分> ツルハシ分れ <砂礫の急登=60分>
- 平笠避難小屋T <ガラ場の急登=60分> 岩手山(2038m) <砂礫の下降=40分> 八合目避難小屋 <平坦な道=10分>
- 新道、旧道分岐(1730m) <林の中の急な下り坂=90分> 登山道合流 <林の中の下り坂=70分> 馬返登山口T

◎所要時間 約8.5時間

但し、メンバー、天候条件により変わります。

4.周辺地図

